

Go! Central Japan

各地域での観光地域づくりや、広域で連携した観光プロモーションなどの取り組みを紹介するコーナーです。



四谷の千枚田

中経連では、自治体および団体をつなぎ、「本物にふれる経験」をコンセプトにインバウンド向けの3つのモデルコースを造成し、動画や記事の発信を行っている。

今回の「Go! Central Japan」では、前回紹介した「東美濃－南信州コース」に続き、愛知県、(一社)ツーリズムとよた、地域の観光事業者に協力いただいた、「中部国際空港－奥三河－豊田市」を旅する2泊3日のモデルコースを紹介する。

1 インバウンドに向けた訴求ポイント

2019年、日本で開催されたラグビーワールドカップ2019(RWC2019)では、11.2万人もの観戦客(うち約2割が外国人)がトヨタスタジアムを訪れた。外国人に試合とともに、当地域での観光を楽しんでもらえるよう、RWC2019に先立ち、豊田市と新城市をつなぐ観光ルートの魅力を発信した。

当地域では、自動車産業発展の歴史に加え、自動車の製造工程や技術を知ることができるトヨタ会館と、四季を通じた原風景が残る豊田市の足助や香嵐渓、新城市の四谷の千枚田などを楽しめる。これらに加え外国人目線を選んだ、精進料理体験をはじめとした地域ならではの食事、宿泊施設や体験プログラムを紹介している。

2 モデルコースで紹介する体験プログラム

THE NINJA MANSION: 築150年の外観はそのままにリノベーションした、外国人に人気の宿泊施設(豊田市)。茶室や掘りごたつの他、ジブリ映画「となりのトトロ」で描かれているような蚊帳のある寝室、朝食の五平餅など、施設での宿泊体験を通じて日本の田舎の魅力を体感できる模様を伝えている。

精進料理体験: 医王寺(新城市)で精進料理を体験した外国人の編集者が「ヴィーガン料理」に似ていることに気づき、インバウンド向けの新たな日本食体験として精進料理の魅力を紹介している。



トヨタ会館の展示の様子

トヨタ会館: 外国人に人気のある産業観光の一つで、世界の自動車産業をリードしてきたトヨタ自動車の歴史、自動車の構造や最先端技術を知ることができる館内の様子を紹介している。また、豊田市には美術館建築で有名な谷口吉生氏が設計した「豊田市美術館」があり、建物も含めた美術館全体の魅力をアピールしている。



五平餅を七輪で焼いている様子



医王寺で体験できる精進料理

3 今後の取り組み

多様な外国人が中部圏に訪れるよう、観光資源の磨き上げに尽力する観光行政や地域の方々と連携し、実際に多くの人に観てもらえる観光プロモーションを探究・検証していく。

モデルコースの詳細については、中経連ホームページ(<https://www.chukeiren.or.jp>)よりご覧ください